

県内広がる「KES」加点

低コスト認証 業界企業へ普及予想

中小企業者向けの環境マネジメントシステム「KES」を入札参加の際、加点対象とする自治体(市町)が県内でも広がりを見せ始めている。既に滋賀県では平成23年度申請から経営管理の環境部門にエコアクション21と同じく加点10点対象として「KES」等の登録・認証を追加したが、その後、東近江市、野洲市が採用、25年度申請からは津市も加点対象として受付を行っている。「KES」は、シンプルな仕組みと低コストで認証に向けた取り

組みができることから、環境負荷が比較的大きいと考えられている県内建設産業界の企業に対しての取得への普及が今後、進むことが予想されるところだ。

KESは、京(みやこ)のアジエンタ21フォーラムが構築した環境マネジメントシステムで、現在では特定非営利活動法人KES環境機構に引き継がれ運営されているもの。

平成23年度に県土木交通部監理課が実施した建設工事等入札参加資格審査申請では、参加希望工事ごとに

経営事項審査を基にした客観的事項による客観点数と、滋賀県独自に設定した主観的事項による主観点数を合計し総合点を算出しており、平成23年度申請から経営管理の環境部門にエコアクション21と同じく加点10点対象として「KES」等の登録・認証が追加された。またその後は東近江市、野洲市が採用、25年度申請から津市が導入を打ち出している。

KESの特色は、企業や自治体・学校・家庭など、あらゆる規模・業種の組織

が環境負荷に対する管理や軽減についてのマニュアルを、構築済みのシンプルな仕組みのフォーラムを用いて作成でき、認証に向けた難易度も段階的に取り組める2つのステップを用意し、選択することが出来るものとなっている点。「ステップ1」については、環境問題に取り組みを始めた段階を想定。「ステップ2」については将来的にISO14001の認証取得を目指す取り組むもので、環境ISOと同じ様な要求項目が設けられている。

エコアクション21等とともに、滋賀県の経営事項審査における主観点数の加点対象に追加された中小企業者向けの「環境マネジメン

トシステム・KES」について、その取得について支援を行っている「おおつ環境フォーラム(大津市浜大津、明日都浜大津四階)」ではシンプルな仕組みと低コストで認証に向けた取り組みができることから、県内建設産業界の企業に対して取得への普及を行っている。

「おおつ環境フォーラム」では、毎週第3木曜日に明日都浜大津事務局で午後2時から5時まで無料相談会(予約必要)を開催。また、取り組みに対する相談や出張講座も、随時受け付け中だ(相談や予約は077-1528-2020まで)。